

(様式2)

令和5年度学校関係者評価報告書

愛媛県立大洲農業高等学校
学校番号 31

評価実施日		令和6年2月16日(金)	
委 員	氏名	所属等	備考
	青井 斗志男 宇都宮 幹人 上田 弘 中野 八千代 丸井 幸造 松井 英樹 竹本 修二 上杉 茂 岡本 晋作 福岡 ゆみ	学校評議員 (JAたいき・総合企画室長) 学校評議員 (老人保健施設フレンド事務長) 学校評議員 (大洲市隣保館 館長) 学校評議員 (大洲市立東大洲こども園 園長) 学校評議員 (愛媛県農業指導士会 副会長) 大洲市立喜多小学校 校長 大洲市立大洲北中学校 校長 肱北公民館 館長 大洲農業高等学校 PTA会長 大洲農業高等学校 PTA副会長	団体職員 会社職員 公務員

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 学校経営</p> <ul style="list-style-type: none">・ホームページ(ブログ)が毎日更新されており、保護者のみならず地元の住民が大農の活動内容がよくわかり素晴らしいと思う。地域のイベントにも積極的に参加しており、親しみが持てる。・業務効率化は、先生方の負担減になるような方法で国や県主体で進めていく必要があると思う。・教育活動の状況を地域に公開し、情報発信がよい。・校務支援システム、アプリの活用で効率化が図られてきている点は素晴らしい。・地域に開かれた学校、地域貢献活動については、JAだより、日本農業新聞、愛媛新聞等を中心に各種活動の様子を見せていただいている。特に新型コロナウイルス5類移行後は、よく活動していると思う。・コロナ5類移行もあり、体育祭や農業祭では地域に開かれた学校づくりをしておりよかったと思う。農業祭にはたくさんの人の賑わいであった。以前のように2日間の開催でもよいかもしれない。・コロナの分類が5類に引き下げられたことから、生徒たちが様々な講座やイベントに積極的に参加できており、地域とともにある学校に向けて努力できている。・今後も地域の方々に必要とされる学校づくりをお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none">・ホームページの一日の平均アップ数は1.6回であったが、ホームページの更新者に偏りがみられるため、教職員全員が月に1回は記事をアップするなどの方策を考え、学校の魅力発信を継続して行う。・業務効率化をめざし、校務支援システムと各種アプリの活用を引き続き進めていく。また、ICT教育の充実を図り、働き方改革を推進する。・新型コロナウイルス感染症の5類移行により、地域とともにある学校をめざし、各種公開講座の実施、地域イベントへの参加はほぼ予定通り実施できた。引き続き地域に開かれた学校をめざし、地域貢献活動等、積極的に進めていく。・来年度は創立100周年を迎える。そこで記念体育祭や記念農業祭等の記念行事を計画している。今年度の反省点を生かし、さらに磨きをかけ、活気のある地域行事になるよう取り組む。・県立学校振興計画についてはその進捗状況に応じて生徒、保護者、関連機関等に適切な情報発信を行い、地域農業及び産業発展に寄与する人材育成に努める。また、進行状況等をホームページに公開し、情報発信を行う。・今後も地域の方々に必要とされる学校づくりをめざし、全教職員が一丸となり学校経営に取り組む。
<p>2 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none">・ICT端末を導入し授業に取り入れる事は、企業でのペーパーレス化、デジタル化の方向性と一致しているので、今後も生徒のスキルアップをお願いしたい。・技能教科や知識教科において、学力差があるので、取得回数や習熟度別学習を重視してほしい。・ICT機器の活用ができ、成績向上につながっている点は素晴らしい。	<ul style="list-style-type: none">・習熟度別クラス編成や定期考査前の補習などを実施することで、個にあった学力の定着を図っている。生徒間の学力差が大きいため、個に応じた指導を今後も充実させていく必要がある。・今年度は端末を利用した授業が平時に行われるようになり、各教員のICTに関する技能が高まっている。よりレベルの高い技術を身に付けられるように、

<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器活用や数学・英語における習熟度別クラス編成での学習指導など、時代にあった改善がみられ、成績向上にもつながっているようで、今後も実施していただきたい。 ・学習意欲をいかに高めるかというのは、小学校でも大きな課題である。家庭学習習慣や基礎学力の定着のためにも力を注いでいるが、なかなか定着しない。世に出して恥ずかしくない児童生徒の育成に努力したいと思う。 ・学習に真面目に取り組む生徒が多く、タブレットも有効活用できている。 ・生徒も楽しく学習に取り組むことができていると感じる。 	<p>今後も引き続き校内研修、校外研修を含め行っていきたい。生徒も日常的に端末を使用するようになっており、授業中の話し合いや発表に活用したり、提出物を提出させたりするなど、スムーズに使用することができるようになってきている。各教科で工夫した教科指導を来年度も引き続き行っていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は皆勤率が非常に低かった。安易な欠席や遅刻をさせない指導と合わせ、日頃の学習の積み重ねを大切にさせる指導を行っていきたい。 ・読み・書き・計算の基礎学力の定着のために、漢字テスト、数学計算テストを来年度もSHRで実施していきたい。家庭学習の習慣が十分でない生徒も多く、その定着に向けて取り組みたい。各教科で家庭学習の課題を出してもらおうお願いをしていく必要がある。併せて、一人一人に応じた的確な指導を行い、学習に対しての達成感や充実感が感じられるような指導を行ってきたい。
<h3>3 生徒指導</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の近くに職場があり、生徒さんと接するたび非常に気持ちのいい笑顔で挨拶をしていただいている。 ・学校外で特に目立ったマナー違反等を見たり聞いたり感じたりすることはない。個人面接を頻繁に実施されていることで必要なご指導等できているのだと思う。 ・人としてのモラルを身に着けてほしい。 ・あいさつは、気持ちよくできていると思う。 ・大農の生徒のみではないが、自転車のヘルメットをぬいでかごに入れたり、着用していない生徒を時々見ることがある。通学時に生徒が死亡して愛媛から始まった着用運動を今一度生徒に守ってほしい。格好より命が大切だから。携帯を見ながらも時々見かける。 ・学内外で出会う農高の生徒は、身だしなみや態度等全く問題を感じない。しっかり指導していると思う。 ・挨拶がよくできている。問題行動も少なくてよい。 ・いつ学校に来てても態度の悪い生徒はおらず、問題はなくしっかりと指導していると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もさわやかなあいさつや正しい言葉遣いができるよう、登校指導や学校行事、普段の学校生活など、富士会や部活動とも協力しながら進めていく。 ・基本的生活習慣の確立は、学習意欲や体力・気力の向上に繋がる。今後も粘り強く、指導していく。 ・校外における生徒の行動については、地域の方々から多くの意見をいただき、感謝している。今後も継続して大農生としての自覚を持った行動、マナーやモラルについてもタイミングをとらえて指導する。 ・情報機器の使用マナーやSNSの利用について生徒の実態に応じた指導方法を確立していくと共に保護者への啓発にも努めたい。 ・ヘルメット着用や着用の仕方について時々指導する必要がある。また、今年度は自転車の自損事故や接触事故が3件発生している。自分の身は自分で守ることを意識させ交通安全に十分注意させたい。また、もしも事故に遭った場合には適切な対応ができるよう指導していく。
<h3>4 特別活動</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒数が減少する中、活発に部活動をされていて活動結果は素晴らしく、卒業生としても誇りに思う。部活動のみならず、ボランティア活動にも力を入れている。 ・新型コロナウイルスが5類になったとはいえ、感染拡大の可能性はある。ボランティア受入側の対応もまちまちで、十分な活動ができないのは致し方ないと思う。当施設もお願いしたいところであるが、現時点では未定である。 ・部活動は、自分が選んだ活動であるので、ぜひ満足感を育ててほしい。 ・部活動にも積極的に参加し、優秀な成績を収められている点、日頃の努力の賜物だと思う。 ・部員不足により合同チームでの参加も多くなって 	<ul style="list-style-type: none"> ・県高校総体には29名が参加したが、目標である50名には届かなかった。また、運動部離れが目立つようになり、部員不足に悩むことが多く、選手権以降は他校との合同チームとして参加する部活動が増えた。文化部の活動は盛んになっており、活動時間も増えてきた。高文祭への参加は28名と成果を上げている。 ・新型コロナウイルスも収まりつつあるので、積極的にボランティアに参加できる生徒を育てていく。 ・部活動の統廃合については、現状維持できるよう努力していく。しかしながら、今後は、生徒のニーズはもちろん、地域の実態に合わせた検討も必要である。 ・生徒会や農業クラブ、家庭クラブなど本校生徒の活躍できる場面はたくさんあるが、それぞれの場所で自信を付けたり、居場所づくりを行ったりして、様々な

<p>いるようだが、生徒らは頑張っていると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大洲高校とのコラボで特色ある活動をされており、将来を見通した活動ができていると思う。 ・部活動に意欲的に参加している生徒が多い。野球部員が少ないのが残念である。 ・もう少し運動部が活発になればと願う。 	<p>場面で生徒がよい方向に変容していく仕掛けを作っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校統合に向けて、本校の魅力をさらに出せるように工夫していきたい。
<p>5 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生では、現社会では職業がどういった業種があるのか、具体的には理解できていないと思う。高校生の段階で、今後進む進路を決定することは難しいと思うが、どんな職場に配属されたとしても、その場で花を咲かせる必要がある場合も存在することを教えてほしい。大洲農高の卒業生は意欲的に働いている。 ・就職決定率、進学希望者決定率とも100%は素晴らしい。生徒の頑張り先生方の指導の賜物と思う。地域に求められ、地域に根付く生徒さんが今後も増えてほしいと思う。 ・1年生時の進路指導を充実させ、3年に完成させてほしい。学力格差への補習や個別学力をぜひお願いしたい。 ・現場実習に来た学生が短大に進学し、実習に見えられうれしく思った。今後も保育を目指す学生さんを積極的に受け入れていきたい。 ・先生方のご努力により就職・進学とも希望者100%達成とあり素晴らしいと思う。今年はJA愛媛たいきにも就職していただくようで楽しみである。 ・就職希望者決定率が100%ということであり、安心している。なおかつ地元で働いて地元の大洲を元気にしてくれる若者が増えていくことを願う。 ・生徒や保護者の意見に寄り添い、適切な指導助言ができている。 ・社会の厳しさや大変さを教えることも大事だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内進路ガイダンス（5月）、企業説明会（6月と11月）などを実施して、地元企業の担当者から直接仕事内容を聞き、職業理解を深める機会を設けている。また、進路ガイダンス（2年生は12月、3年生は7月）では、外部講師によるキャリア教育を実施し、自己実現に役立てられるよう取り組んでいる。 ・就職、進学とも生徒一人ひとりの希望がかなえられるよう、小規模校ならではのきめ細やかな指導をしている。農業教育を通して、地元への愛着も深められている。 ・漢字テストや数学計算テストを定期的実施して、個別の補習により基礎学力の定着に努めている。 ・地域の方々の理解に支えられて、現場実習が実施できている。実習報告会を実施するなどして、より活発な活動につなげていきたい。 ・生徒の進路決定に役立つよう、説明会や、学科別研修などで地元企業や進学先の選定を充実させていきたい。 ・本校では教科農業で「地域資源活用」という科目もあり、今後も将来を見据えた学びにつなげていきたい。 ・每学期初めに進路希望調査を実施しており、担任や進路課で情報を共有して進路指導を行っている。 ・実習や部活動など学校生活のあらゆる場面において、望ましい社会規範が身に付けられるよう指導している。
<p>6 農業教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業祭は地域に密着し、地域住民との交流の場として非常に重要だと思うし、その役割を果たしていると思う。 ・農業祭は地域の一大イベントになっていて、生徒たちも生き生きと参加、活動していて、毎年大盛況である。ぜひ継続していただきたいと思う。 ・資格取得をぜひ進めてほしい。 ・今年の農業祭はとても賑やかだった。展示なども楽しく見させていただいた。 ・資格は持っていて無駄にはならないので、取れる資格は取得してもらいたい。農業クラブ活動も引き続き頑張してほしい。 ・本校児童を招いてもらい田植え体験教室を開いていただき、感謝している。貴重な体験ができ、児童も大変喜んでた。 ・メインと言ってもよい農業祭が盛大に行われてよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されたことから、通常開催の農業祭が実施できたのはよかった。 ・多くの来場者を迎えることができ、地域の方から親しまれている行事であることを実感した。 ・生徒数の減少や統合を控えて、農業祭の実施方法の再検討が必要になるが、地域の期待にも応えられるような農業祭としていきたい。 ・資格取得の目標である、一人一資格は達成できたが、今後も多くの生徒が資格取得を目指し、進路・職業意識も高めていきたい。 ・農業クラブ活動では、全国的な活躍をしている研究があり、様々な方面で評価をいただくことができた。このような活動を推進していきたい。 ・うきうきわくわくスクールなど、地域と連携した学習活動を実践していくことで、生徒の社会性や指導性

<p>かった。</p>	<p>など学校内だけでは学ぶことのできない貴重な経験を通して、地域に貢献できる人材を育成していきたい。</p>
<p>7 環境教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺は非常にきれいに整備され、掃除が出来る。近隣の企業として見習いたいと思う。 ・校内はいつ伺っても清掃が行き届いていると思う。 ・農林環境と生活保全の基礎力を育成してほしい。 ・美化活動に積極的に取り組まれていることを知った。 ・いつも清掃はよくされていてすばらしいと思う。 ・農業に大切な環境を整えることに努力できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境調査や清掃活動などを通して、校内のみならず地域を含めた環境に対する意識の向上と実践できるように努めていきたい。 ・校内の清掃については、生徒数の減少もあり行き届いていない部分もある。開始5分前のチャイムで清掃場所への移動を徹底させ、時間いっぱい清掃を行い、主体的に環境の改善に努力できる生徒の育成に努めたい。
<p>8 人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権は難しい課題だと思うが、アンケートを実施することで問題の早期発見・早期解決に努められていると思う。 ・年6回(学期に2回)程度の公開学習をお願いしたい。 ・人権だよりに返信欄があるのがよかった。 ・昔に比べ、携帯電話の普及などにより各種問題が多発している。生徒の皆さんが被害者にならないように願うばかりである。その点、教育相談室へカウンセラーが常駐しているのはよかったと思う。 ・いじめに関して工夫を凝らして早期発見・早期対応できている。 ・多数の活動をしていてすばらしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も「いじめに関するアンケート」の集計・分析・対応を迅速に行い、いじめの早期発見・早期解決を図る。 ・人権・同和教育に関する公開学習の回数については、今後検討していくと共に、生徒が隣保館等での催しに参加し、地域の方々との交流を通して学ぶ機会を増やしていく。 ・「人権だより」を通して、生徒の人権に関する活動を発信していく。 ・教育相談室における生徒の相談内容は多様化している。相談員が常駐し、生徒に寄り添い相談にのり、悩みを打ち明けやすい環境づくりに努める。
<p>9 情報教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報関係は非常に便利な反面、リスクを伴う場合もあり、モラル・マナーの教育をお願いしたい。 ・ICT機器の活用がほとんどの教職員が普通にできる段階までできていることがすばらしい。まずは職員から、が大切である。 ・ICT機器の活用やPCやスマートフォン利用の取り組み、自分には不得意分野であるが、今の時代には不可欠だと思うので育成に努めてほしい。 ・今の教育に欠かせないICT関係の研修が積極的にできている。 ・親に対するスマホ教育があってもよいと思う。子どもについていけない感じがしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報科目では、情報リテラシーや情報モラルについて、授業では折に触れて重要性やリスクについての指導等を行っている。 ・職員会等で情報セキュリティについて講習を行うなど適宜行っている。 ・さまざまな場面で生徒が情報端末を活用する場が設けられており、活用するようになってきている。(ロイロノート、Teamsなど) ・今後、生徒を通じて情報リテラシー、情報モラルなどについての情報発信などを努める。
<p>10 図書指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活字離れ・ペーパーレス化が進んではいるが、印字された文章を楽しみながら、理解しながら読み返す事は重要なので、今後も指導をよろしくお願いしたい。 ・若者の活字離れが言われ始めて久しいが、朝読書、各教科での図書館の活用などに取り組まれておられることは評価したい。 ・読書をする、図書館を利用するための働きかけ、ご苦労様。 ・携帯電話の普及から読書離れが目立つ。魅力ある図 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書を中心に、毎日少しでも読書に取り組めるような環境、雰囲気作りを今後も行う。 ・図書館の利用者数が減ってきているので、魅力のある図書館づくりをしていく。 ・各教科にも協力していただき、有効な図書館の利用を促す。

<p>書館に期待したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書はよい取り組みだと思う。 	
<p>11 学校保健・学校安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心と体の健康については、高校生ならある程度理解できていると思うが、自分の心身が出してくる異常警報の判断の仕方等を指導いただくと早期解決できるのではないかと思う。 ・現場に来られる学生と一緒に避難訓練をさせていただいているが、子どもたちにとってとても新鮮な感じである。避難場所にもなっているので、今後ともぜひ続けてさせていただきたい。 ・新型コロナウイルス、インフルエンザ等に対する対策や避難訓練も行っているので、引く続き実施していただきたいと思う。 ・様々な工夫を凝らした保健だよりである。 ・新型コロナウイルスやインフルエンザ等集団感染対策は必要以上にすることが大事だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保健だよりや保健掲示物、保健委員会活動を通して、健康・保健についての情報提供と啓発を行う。 ・心身の自己管理や感染症等、疾病予防に焦点を当ててより充実した内容と呼び掛けていく。 ・日々の基本的な感染対策に加え、行事や集団での活動の際には特に感染対策を徹底し、集団感染の予防に努める。 ・避難訓練についてはより実践的なものとなるよう工夫していきたい。
<p>12 学校行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気・水道等の料金が値上がりしている中、こまめな節電等で維持管理費の削減ができていると思う。 ・節電、節水の意識を私生活にも活用できるよう願う。 ・目標に向かって達成するよう努力をしているところはすばらしい。 ・電気・水道の使用量前年比 95%を目標に取り組み、目標を達成できる見込みとあり、すばらしいことだが、数字をクリアするために必要以上の制限をしないようにしてほしい。 ・厳しい財政の中、生徒の活動に影響が出ないように努力されている。 ・学校設備は新しいとは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節電、節水の意識を高めるため、コスト面だけではなく CO2 削減など生徒にも関心ある資料を提示するなど、学校全体で取り組んでいきたい。 ・目標達成のために必要以上制限するのではなく、無駄を無くす努力したうえで、結果的に目標達成ができるようにする。 ・学校施設に関しては、危険箇所等を重点に必要な修繕を行う。